令和3年度前期選定　後代検定種雄牛

令和３年度前期に後代検定対象として選定された
十勝牧場産後代検定種雄牛を紹介します。

ちゅう た 1

忠　太　1

登記番号：2020子受卵北黒1609758408
生年月日：R2.3.25
個体識別番号：1609758408

安亀忠	喜亀忠	忠茂勝
	さつき	安糸福
かんあてね	美津百合	百合茂
	かんた	安茂勝

★兄弟等の枝肉成績
（格付,BMSNo.,ロース,枝重,父牛,性別）
異父兄弟：A5,11,91,593,北国関7,去勢
異父兄弟：A5,9,61,550,重忠平(現検),雌

（一社）家畜改良事業団　令和3年10月に現場後代検定の調整交配を開始

始祖牛名号	茂金波	栄光	第６藤良	第３８の１岩田	城崎	奥城土井
※遺伝子保有確率	10.737%	12.840%	1.236%	0.940%	0.296%	0.000%

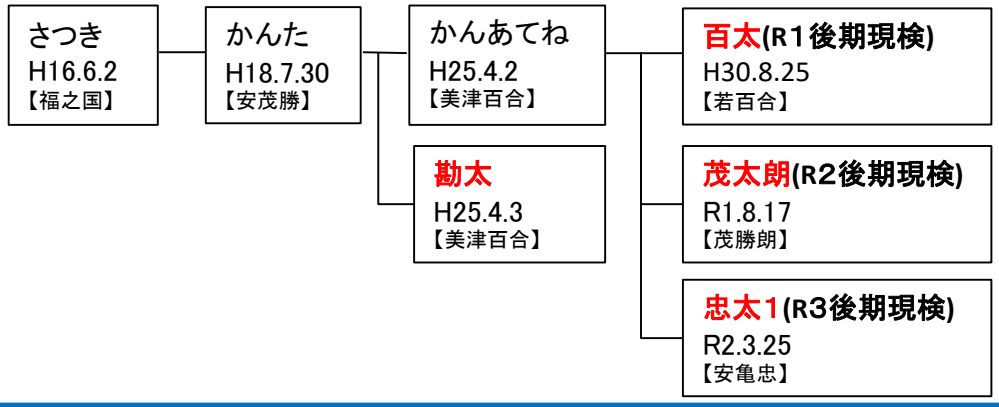
※特定の系統の始祖牛の遺伝子を保有する確率

母「かんあてね」は、父に「美津百合」、母の父に「安茂勝」をもつ気高系の繁殖雌牛であり「北国関7」を交配した息牛の枝肉成績がA-5、枝肉重量593kg、ロース芯面積91㎠、BMSNo.11を記録するなど優れた成績を示しています。また、全きょうだいには、現場後代検定においてバランスの取れた産肉能力を示すとともに、オレイン酸のゲノム育種価（一般社団法人家畜改良事業団）において極めて高い評価を得ている「勘太」を有していることから、産肉能力のみならず脂肪酸組成に特長をもつことが期待されます。

この母の「かんあてね」に「安亀忠」を交配して生産したのが「忠太1」です。

父の「安亀忠」は枝肉重量と脂肪交雑において高い産肉能力を持ち、九州をはじめとして枝肉共励会等で活躍しています。

このような血統的背景をもつ「忠太1」は、直接検定中の1日当たりの平均増体量として1．55kgを記録したことからも増体に優れています。体型では体積や後軀に優れた特長をもち、直接検定終了時の審査得点は85．3点に達することから、優れた体型であることが窺えます。

上記のことから、脂肪の質を含む産肉能力とともに繁殖雌牛の改良への貢献が期待できる気高系の候補種雄牛です。

母系図【】内は父